



裸子植物コンプリートMAP

これが裸子植物だ！

※はもともと日本に分布しない

- ソテツ科
- ザミア科※
- イチョウ科※
- マツ科
- ナンヨウスギ科※
- マキ科
- コウヤマキ科
- ヒノキ科
- イチイ科
- マオウ科
- ウェルウィッチア科※
- グネツム科※

園内では見られません。

マツ マイ ソー ス を 探 せ !

イチョウ

ソテツ

スギ

- ① サバンナ温室
- ② 熱帯雨林温室
- ③ 熱帯資源植物温室

ウェルウィッチア

アカマツ

メタセコイア

テーダマツ

セコイア

イチョウ

ソテツ

スギ

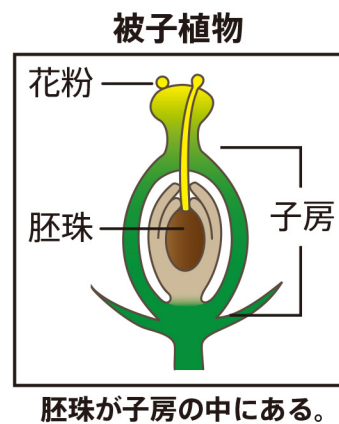
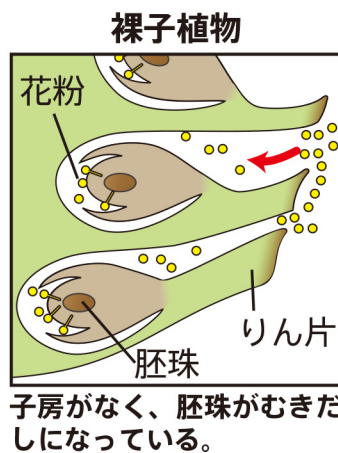
コウヨウザン

ドイツトウヒ

レア裸子植物アイコン！
見つけてみよう
超レア

裸子植物とは？

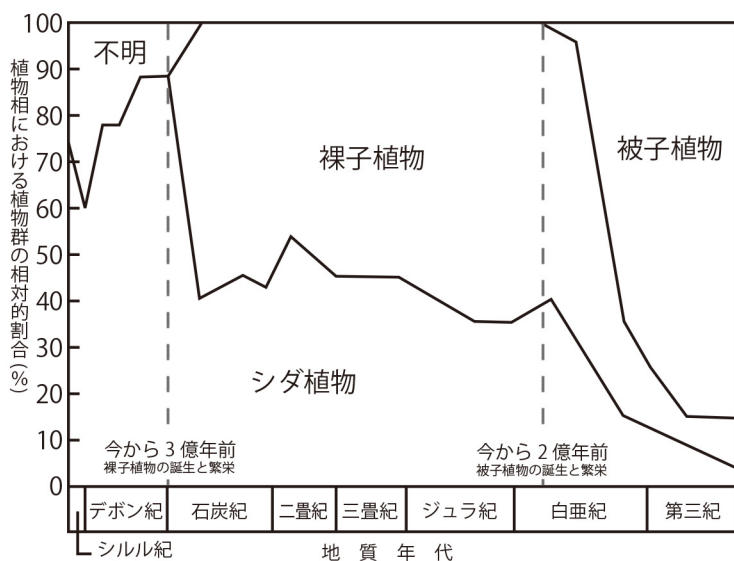
子房（果実になる）がなく、胚珠（種子になる）がむきだしになっているのが裸子植物です。
胚珠が子房の中にあるのが被子植物です。



被子植物と裸子植物

被子植物が栄える2億年前は裸子植物が栄えていましたが、今では被子植物が繁栄し、被子植物は世界で**35万種**が知られるのに対し裸子植物は世界で**1000種**もありません。
なぜ被子植物はこんなに増えたのでしょうか。

被子植物と裸子植物の違いはたくさんありますが、被子植物は、胚珠（種子になる）が子房（果実になる）の中にあるため、種子が果実でしっかり守られています。果実は種子散布にも役立っています。また、裸子植物の「花」は、花びらやがくはなく目立たず、花粉は主に風で運ばれますが、被子植物はふつう目立つ花をもち、虫や鳥などをおびき寄せ、効率よく確実に花粉を別な花へと運ばせます。動物と密接にかかわりあいながらお互いに進化してきたことが被子植物が多様化した要因の一つと考えられています。



裸子植物のいろいろ

裸子植物はマツやイチョウ、スギなど、身近でもよく見られます。日本で見られる裸子植物は、葉が針のように細い針葉樹（マツ、モミ、スギなど）と、イチョウ、ソテツくらいです。

ところが世界には、これが裸子植物！？とびっくりするような種類もあります。園内で色々な裸子植物を見つけられるかな？

日本の裸子植物



イチョウ（中国原産）



ソテツ



スギ



アカマツ



カラマツ

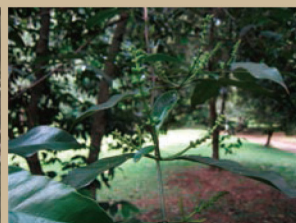


モミ

世界の裸子植物



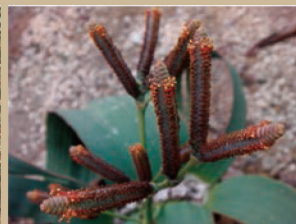
グネツム 雄花（園内ではみられません）



グネツム 雌花（園内ではみられません）



シナマオウ



ウェルウィッチア・ミラビリス

ウェルウィッチアを
サバンナ温室で観察しよう。

